

旧報徳銀行耐震補強設計委託料



予算額 3,997千円	産業振興部 商工観光課	予算書 P124	新規・拡充
-------------	-------------	----------	-------

昭和の街並みを生かしたまちづくりのランドマークとして旧報徳銀行を位置づけ、川・緑・歴史的景観など、歩いて楽しい活気あるまちを実現させるため、耐震補強設計を見直し、耐震工事を行う。

【事業概要】

耐震診断を実施してから既に16年を経過しており耐震診断内容の再確認、現時点における新たな視点での補強方法等の検討の必要性について確認する。

- ・耐震補強実施における法的扱いの整理を行う。
- ・地域の防災拠点となる建築物を整備する。

【背景】

平成22年7月、耐震性能に問題があることから使用停止となり、現在も倒壊の危険性を含みながら、現状のままである。以降、水海道公民館や武道館と一体化した活用の方向性について議論を重ねられてきたが、令和3年度の公共施設等運用戦略会議にて、旧報徳銀行を改修するとの方向性が示されたことを受け、令和6年度の耐震工事に向けて、令和5年度に耐震補強設計を行うものである。なお、改修後の活用方法については、市民のアンケートを基に、民間活用（トライアルサウンディング）等と並行して検討する。

【事業費内訳・財源】

事業費	3,997千円
国庫補助金	1/3 (地域防災拠点建築物整備緊急促進事業)